

# 南海トラフ地震で予想される被害

近い将来に発生が予想される「南海トラフ地震」による碧南市の被害を予測しています。地震・津波から命を守り、その上で自らの暮らしを最低限守り、できるだけ早く日常生活を協働で回復していけるよう、この予想される被害から正しい知識を学びましょう。

### 強い揺れ

碧南市全体で震度6強以上

- 古い建物が倒れる、室内の家具が転倒。
- 建物の全壊・半壊・焼失は約9,500棟で、約3件に1件の割合。

計測震度  
7 6強 6弱 5強 5弱 4 3以下

過去地震最大モデル

### 液状化の危険性が高い

碧南市南部の埋立地で液状化

- 建物の傾き、沈み込みで住めなくなる危険性。
- 道路の陥没、ぬかるみ等で移動困難。

液状化危険度  
極めて高い 高い 低い 極めて低い 計算対象層なし 計算対象外

過去地震最大モデル

### 低地部における浸水

碧南市南部で浸水

- ゼロメートル地帯が多い市南部では、地震によって河川堤防が決壊し、矢作川や蜷川等が浸水。

最大浸水深 (m)  
20 - 50 10 - 20 5 - 10 2 - 5 1 - 2 0.3 - 1 0.01 - 0.3

過去地震最大モデル

## 人・建物・ライフラインに被害

碧南市全体で被害が甚大

- 建物の下敷きや浸水で、約450人の死者・重傷者。
- 避難所に避難する人が一週間後まで約13,300人、一か月後も約5,400人。
- 上水道は約1週間、電力は1～3日間、携帯電話が約1日ほど、市内の多くで途絶。
- 強い揺れと液状化の被害で、通行可能な道路が限定、鉄道も運休。

### 人的被害予測

過去地震最大モデル

市内人口 74,780 人に対して

被害種別	人数
建物倒壊等	0人
浸水・津波	156人
ブロック塀などの転倒・屋外落下物	4人
火災	0人
死者	86人
重傷	26人
軽傷	668人

※平成27年度国勢調査に基づき推計した市内の昼間人口です。被害予測は、冬の夕方を想定しています。

### 建物被害予測

過去地震最大モデル

市内全建物数 30,986 棟に対して

被害種別	棟数
建物倒壊等	238棟
液状化	21棟
浸水・津波	0棟
火災	0棟
全壊焼失	2,015棟
半壊焼失	4,805棟
焼失	9,299棟

※建物数は平成27年1月時点の課税台帳データに基づいています。建物被害数の二重計上を避けるため、揺れによって被害を受けた建物が浸水しても浸水・津波の被害数には計上していません。被害予測は、冬の夕方を想定しています。

### ライフライン被害予測

理論上最大想定モデル

ライフライン	被害状況	95%復旧に要する期間
上水道・下水道	被災直後、市内のほぼ全域が断水 下水道…被災直後、約1割が利用困難	上水道…約6週間 下水道…約3週間
電力	被災直後、約9割が停電	約1週間
通信 (携帯電話)	被災1日後、電波停止が最大約8割	約6週間
LPガス	被災直後、約4割が機能支障	約1週間

## 減災効果

地震や液状化、津波の発生は防ぐことができませんが、事前の備えや地震発生後の対応によって、被害は減らすことができます。

住宅耐震化率の現状	耐震化率 95%	早期避難率が低い場合	全員が発災後すぐに避難を開始した場合
83%(H25)	95%		
地震動による全壊棟数 2,015 棟	1,001 棟 <b>1,000 棟減</b>	浸水・津波による死者数(冬・深夜) 144 人	94 人 <b>50 人減</b>
地震動による死者数 119 人	59 人 <b>60 人減</b>	浸水・津波による死者数(夏・昼) 74 人	37 人 <b>40 人減</b>

## 碧南市地震対策減災計画

# ひとのわでつくる あんしんのわ



市民協働部 防災課  
Address 〒447-8601 愛知県碧南市松本町 28 Tel 0566-41-3311  
HP <http://www.city.hekinan.aichi.jp/>

「碧南市地震対策減災計画」は、市が名古屋大学減災連携研究センターとの共同研究で作成したものです。(平成29年2月)

# 碧南市の減災に向けた取組

～「防災・減災の日常化」を目指して、オール碧南市で取り組むこと～

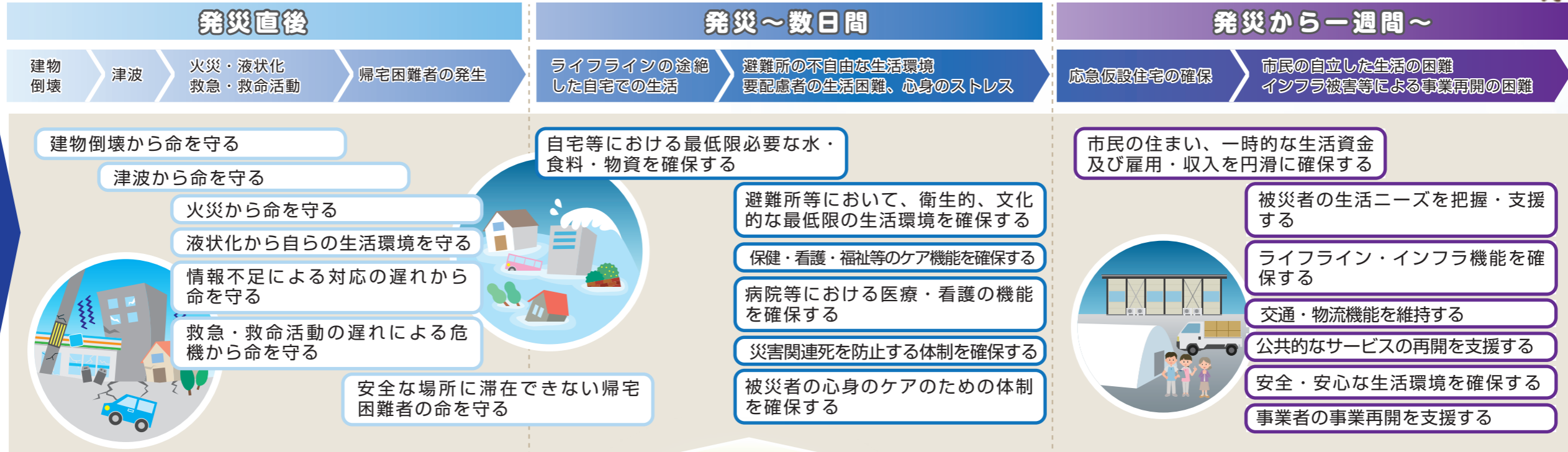


「碧南市地震対策減災計画」は、南海トラフ地震の被害を最小限にするために取り組む市の事業などをまとめた行動計画です。《計画期間：平成29年度から36年度（8年間）》

市が取り組む事業（公助）をより効果的に減災につなげるために、市民ひとりひとりの取組（自助）や地域全体で協力した取組（共助）も必要です。市民だけでなく、市内で働いておみえの方も積極的な取組を期待しています。

碧南市（公助）は、市民の皆様に取り組んでいただきたい自助・共助の内容をお伝えし、その取組を「ひと・もの・情報」などで支えていきます。

## 地震発生後に備えた準備



## 市民

自主防災会、町内会、市民ボランティア、民生委員など



地域の防災力を向上させる

自治体間連携・関係機関・ボランティアとの応援連携活動を向上させる

災害時の活動を  
支える準備

## 行政

碧南市、学校、園、病院、高齢者施設など

災害時も必要な市の機能を維持する

事前に産業界を  
災害に強くする

企業、商店、商工会議所、農業、漁業など

## 産業

個々の事業所の意識を向上させる  
被災後の早期事業再開を支援する  
災害情報の収集・共有を進める



## 市民と事業者が自ら取り組む減災対策

### 建物倒壊や津波から命を守る

- ・自宅の耐震化・家具固定をする
- ・自宅から一時退避場所や避難所まで歩いてみる
- ・自宅に一週間分程度の水・食料等必要な物を備蓄する

### 不自由な生活環境の中で生き延びる

- ・看護師・保健師などが市内の救護所や病院の手伝い
- ・カウンセリングの知識がある方による心のケア
- ・老人ホームなどにおける要配慮者の受入れ協力

### インフラ・ライフラインが途切れても業務を継続する

- ・自社の業務を継続するための準備（BCM）
- ・機械や燃料タンクなどの安全確保
- ・重機の活用、市との情報共有など地域協力

などをする等、各自でできる事を、できる場所で、できる時に協力し合える体制づくり